

実施計画事業名		男女共同参画推進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男			
総合計画体系	分野	0	地域経営(自治)					
	政策	2	パートナーシップによるまちづくり					
	施策	4	人権を尊重し、みんなで参画できる平和な社会を構築します					
	関連施策							
現状と課題	本市においては、平成20年3月に男女共同参画推進条例を制定し、このたび、市民意識調査なども経て具体的な取り組みを盛り込んだ行動計画を策定したところであるが、男女共同参画社会を実現するためには、家庭・職場・地域などあらゆる場面での取り組みが必要であり、社会全体の意識改革を図ることが肝要である。そのための取り組みは多岐にわたるため、各部署で行う様々な事業展開にこの視点を組み入れていく必要があり、何より職員や市民の意識啓発が重要である。							
目的	男性と女性が性別に関わりなく、個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会の形成を図る。							
5ヶ年展の施策展開	①男女共同参画について意識を深めてもらうため、広報・啓発活動を市民や企業・市役所内で展開 ②男女共同参画に関する情報の収集と提供(広報紙や図書館を活用) ③DVやセクハラ被害防止と人目を気にせず安心して相談できる体制構築 ④市の管理職や審議会委員へ積極的に女性を登用 ⑤事業所(企業)での労働環境改善やワーク・ライフ・バランスの考え方の普及促進 ⑥町内会活動やボランティア活動など地域社会における女性の参画促進と研修等を通じて人材を育成 ⑦介護や子育てサービスを充実し女性の負担軽減を図る ※各事業が適切に推進できるよう推進委員会(市民)の意見を踏まえながら進めていく。							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	市の審議会への女性の登用率		%	目標	21.0	24.0	30.0	
	説明	稚内市が設置する各種審議会における女性の委員数/全委員数		実績	17.5	19.4		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	男女共同参画に関する研修会への参加者数		人	目標	100	150	250	
		説明			実績	96	128	
	男女共同参画推進委員会の開催回数		回	目標	4	4	4	
		説明	1年間に会議を開催した回数		実績	5	1	
	男女共同参画に関する広報・啓発活動の実施回数		回	目標	2	3	4	
		説明	広報紙等への掲載、講演会、出前講座などの広報・啓発活動を実施した回数(年間)		実績	5	11	
			目標	-	-	-		
	説明			実績				
事業費の実績		単位	22年度(決算)	23年度(評価年度決算見込)	24年度(予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	298	97	298		
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		道支出金	千円	0	0	0		
		起債	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	298	97	298		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.22	0.16	0.19		
人件費(B)		千円	1,494	1,113	1,321			
計(A+B)		千円	1,792	1,210	1,619			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 平成20年4月から条例が施行され、平成21年に男女共同参画行動計画が策定された。今後、男女共同参画の推進に関する施策を実現するため、具体的な施策を取りまとめ、各課の連携を強化し、全庁的な取り組みとして展開を図っていく。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 男女共同参画社会の理念が市民・事業者等に広く理解されるために、広報紙やイベントなどのさまざまな場面で啓発・周知活動を行い、その結果として目標は概ね達成できた。 ただし、本事業の本来の目標は多くの市民、事業者に男女共同参画社会の理念が広く理解され、実行されることであることから、参加しやすいセミナーやイベント、フォーラムの開催を検討し、さらなる取り組みを推進していく必要がある。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--